

7月2日(木) 文月

しちがつ 七月になりました。むかし い かた 昔の言い方では、
「文月」(ふみづき)(ふづき)と言います。

なぜ、しちがつ 七月が文の月になのでしょうか。

これは、七月七日の ^{たなばた}七夕 ^{かんけい}に関係している

そうです。むかし ひと たなばた ねが ごと 昔の人は七夕に願い事だけでなく、^し詩 ^{うた}や歌を
か 書いて飾ったそうです。その ^{とき}時に、^じ字 ^{じょうず}が上手になるようにと
^{ねが}願ったことから、しちがつ 七月を「文」の月、「文月」と呼ぶようにな
ったということです。

がっこう 学校でも、ぶん 文 ^{かんけい}に関係する ^{べんきょう}勉強 ^{こくご}がたくさんありますね。国語
では、^{さくぶん}作文 ^{さんすう}があります。算数では、^{ぶんしょうもんだい}文章問題 ^{ひと おお}があります。も
しかしたら、「文」が ^{ぶん}つく ^{べんきょう}勉強 ^{にがて}は苦手 ^{ひと おお}だという人が多いかも
しれません。

でも、^{とくい}得意 ^{いがい}になるのは意外と簡単 ^{かんたん}なのです。それは、たく
さん ^{ぶん}文 ^かを書くこと、^{たくさん} ^{ぶんしょう}文章 ^よを読むことです。^{にっき}日記 ^かを
書いたり、^{じゅぎょう}授業 ^ふでのまとめや ^{かえ}振り返り ^かを書いたり、^{ともだち}友達 ^{てがみ}に
手紙 ^かを書いたり、^{どくしょ}読書 ^{しんぶん}をしたり、新聞 ^よを読んだり、いくらで
も ^{ぶん}文 ^{べんきょう}の勉強 ^{とくい}を得意にできることはあります。

七月、^は張り切 ^きって、^{ぶん}文 ^{ちから}の力 ^{たか}を高めましょう。 村越 新

